

「利用者×ケアマネ×介護事業所」3者をつなぐ情報誌

# ミルモブック



巻頭記事  
第一回「とつか未来会議」

株式会社横浜セイビ 家事代行サービスのコピエ

## もはや他人事ではない ～家の困りごとは 誰に頼めばいいの?～

統括マネージャー 川口大治氏

私たちの本業はビルメンテナンス、お掃除を通して地域に貢献しています。創業37年、「地域と人に貢献し続ける企業」というところに重きを置いています。現在、戸塚区では、2025年問題や子育て問題が、屈筋の課題となっています。それらの問題を他人事にはせず、自分たちで解決していきたいと考えています。

私は、今、スマイルサポート事業部(以下SS事業部)で、家事代行サービスを担当しています。「私たち一人一人が関わることによって、お客さまやスタッフに笑顔が届く」そんな事業部であってほしいという思いから、SS事業部という名称をつけました。

SS事業部での事例をご紹介します。戸塚区にお住まいの80代の夫婦から、家事代行サービスのご依頼を頂きました。その理由は「体力の衰え」「これまでの生活を維持したい」「快適なきれいを求める」ということでした。サービスを利用して、「誰がくるのか不安感や恐怖心があったが、一歩踏み出したらそのもやもや感が取れた」「スムーズにいかなかった普段の暮らしが、快適に過ごせるようになった」という感想を頂きました。

ただ、利用を躊躇してしまうというご意見も頂



いています。30代・40代の方々が利用しない理由は「恥ずかしさと忙しさを天秤にかけると恥ずかしさが勝るから」です。また、高齢者が利用しない理由は「体力不足の恥ずかしさがあるから」です。

具体的に家事代行サービスでは、お母さまや奥さまの代わり、イクメンの旦那さまの代わりに、家の様々なことをやっています。

皆さまも、家の中が片付かないという悩みはありませんか。例えば、独立した子どもの部屋がそのままになっているという場合があります。片付けをしない理由は「物が捨てられないから」が52%を占めています。それから「片付けのやり方が分からないから」「本の整理や家具の使い方が分からないから」という理由が挙げられます。なんとなく家で暮らしているけれども、もやもやを抱えている人が多いという現状です。

自分たちの快適な暮らしを維持するためにどうすれば良いのでしょうか。高齢化が進んでいく中で、自分のことが自分でできなくなります。そして、家族も、生活が不安定だと、学業や仕事、介護にも集中できません。人生100年時代と言われるような時代、誰かに頼るといことも、一つのオプションとしてあっても良いのではないかと、いうことを提案させていただきます。

